

e-Learning 推進部会（第5回）議事メモ（案）

日 時 令和6年1月11日（木）13:30～14:30
場 所 中会議室
出席状況 松川学長、久世、谷、森田、清水、横山、村瀬、黒見、住川、瀬戸、河原、山中、櫛、佐々木、吉水、長浜、倉坪、松尾、橋詰

1. テキスト並びに科目ガイドブック・タキソノミーテーブルの提出状況（12月31日〆切）について

- ・Webサイトの資料にもとづいて、テキスト、科目ガイドブック、タキソノミーテーブルの提出状況の説明があった。
- ・久世遠隔通信教育部長より、提出の状況については、適宜、Webサイトを確認していただき、未提出の科目については、早めに提出するよう指示があった。

2. e-Learning プラットフォームについて

久世遠隔通信教育部長より、現在のところ、WordPress を使用した、構築を進めている。e-Learning コンテンツが多くなった場合には、充実した新たなプラットフォームを再構築する必要があるとの説明があった。

3. プレゼン資料並びに動画作成の進捗状況について（1月31日〆切）

久世遠隔通信教育部長より、プレゼン資料、動画のサンプルを紹介し、締め切りまでに提出するよう指示があった。

4. e-Learning 推進部会の目的の確認と科目ガイドブック、タキソノミーテーブルの必要性について

- ・久世遠隔通信教育部長より、ただ単に、e-Learning コンテンツを作成することが目的ではなく、（2）主体的・対話的な深い学びへの転換 をするためにデジタル化を進めており、そのためには、科目ガイドブック、タキソノミーテーブルを作成する必要があるとの説明があった。
- ・学長より、本学では、しっかりとした理論にもとづき、デジタル化を進めていると示せるように、ガイドブックやタキソノミーテーブルを作成するよう、指示があった。

5. その他

①今後の e-Learning 推進について

久世遠隔通信教育部長より、来年度以降は、今回作成した委員等の先生を中心として、さらに多くの e-Learning 作成を、各学科専攻で進めていただきたい。e-Learning の運

用等については、学長より、林知代先生に願されたとの説明があった。

②メタバースと e-Learning の併用について質問があった。

久世遠隔通信教育部長より、授業の全てを e-Learning で行う必要はなく、ここでは、e-Learning で行う部分について作成してほしいとの説明があった。

③市販のテキストの活用について質問があった。

久世遠隔通信教育部長より、授業の一部または、全部に市販テキストを使用することは可能。Web サイトのテキストの概要を紹介し、提出をお願いしたいとの説明があった。

④今後、e-Learning とする科目の選定について質問があった。

今後、親会議等において、大学の戦略、方向性を見ながら決定するとの説明があった。

次回の会議 令和6年2月8日（木）をめどに調整することとした。